

7月18日(土)  
~  
8月31日(月)

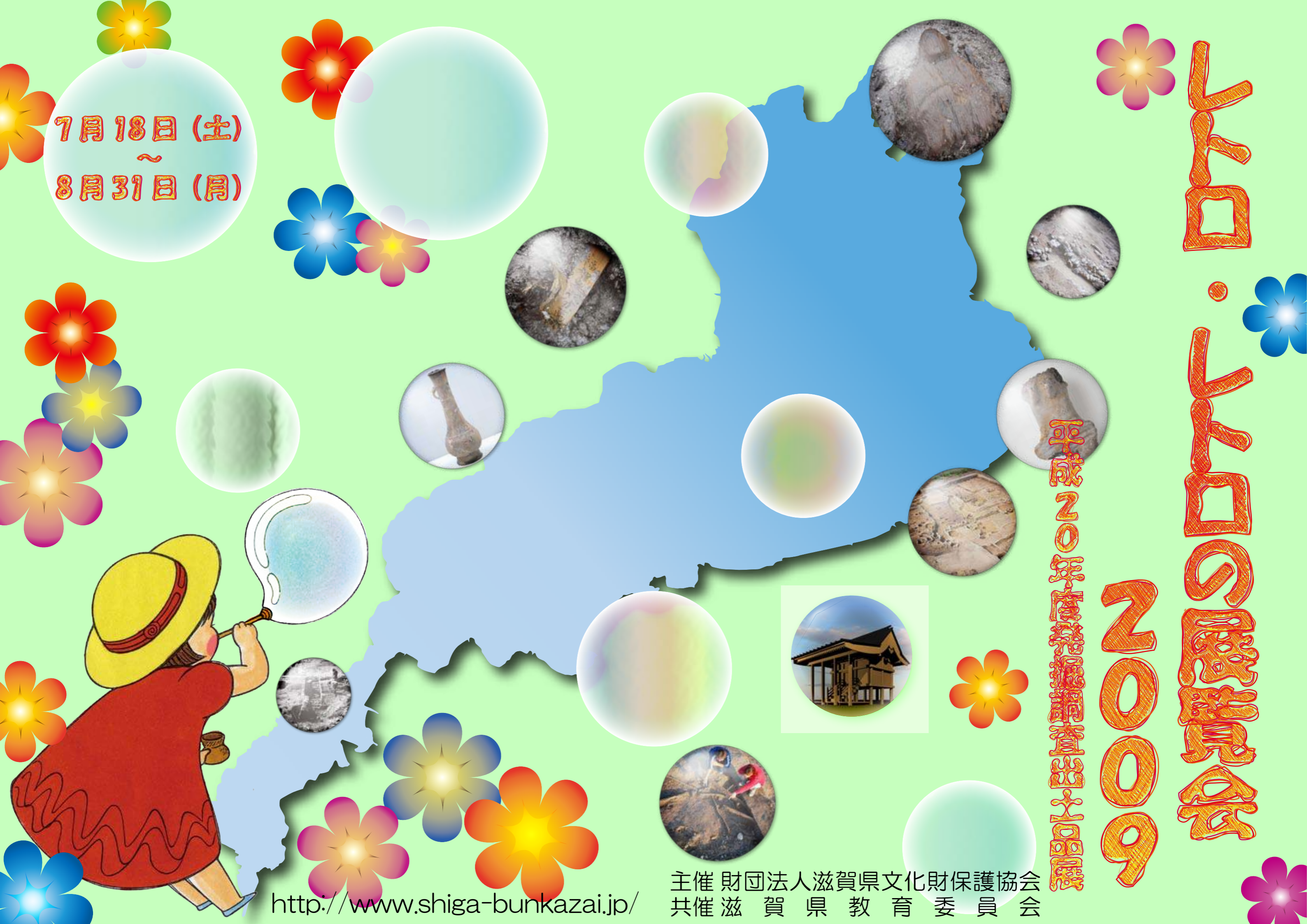
平賀の歴史博物館

2009

平成20年世界遺産登録10周年

主催 財団法人滋賀県文化財保護協会  
共催 滋賀県教育委員会

<http://www.shiga-bunkazai.jp/>



# ごあいさつ

琵琶湖と周辺の山々や大小の河川と平野などによって形成された美しく豊かな自然環境をもつ滋賀県は、日本のまんなかでもいうべき地理的環境によって、独特の歴史・文化を育んできました。特に大地に刻まれた遺跡は、滋賀県や各地域の歴史をよどみなく語ってくれる遺産です。

(財) 滋賀県文化財保護協会では、さまざまな開発の前に埋蔵文化財(遺跡)の発掘調査を行っています。それら埋蔵文化財の調査・研究の成果を通じて、滋賀県がもつ豊かな文化財の保護と活用に日々努めています。

毎年、夏に行っている「レトロ・レトロの展覧会」は、皆さんに埋蔵文化財を広く知っていただくための取り組みのひとつで、今年で23回目になります。

この展覧会では、前年度に行いました発掘調査で得られた成果を少しでも早く知っていただき、出土した遺物にふれることや体験学習をとおして昔の人たちの生活への関心や、歴史への興味をもっていただければと思っております。

この展示が、文化財への理解を深めて、文化財の保護につながるきっかけとなって、地域や滋賀県の未来を豊かにする一助になることを願っています。

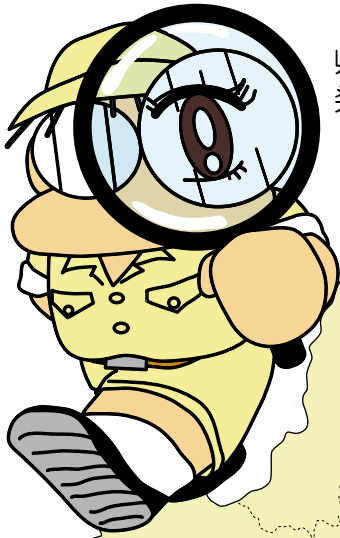
平成21年7月

財団法人滋賀県文化財保護協会

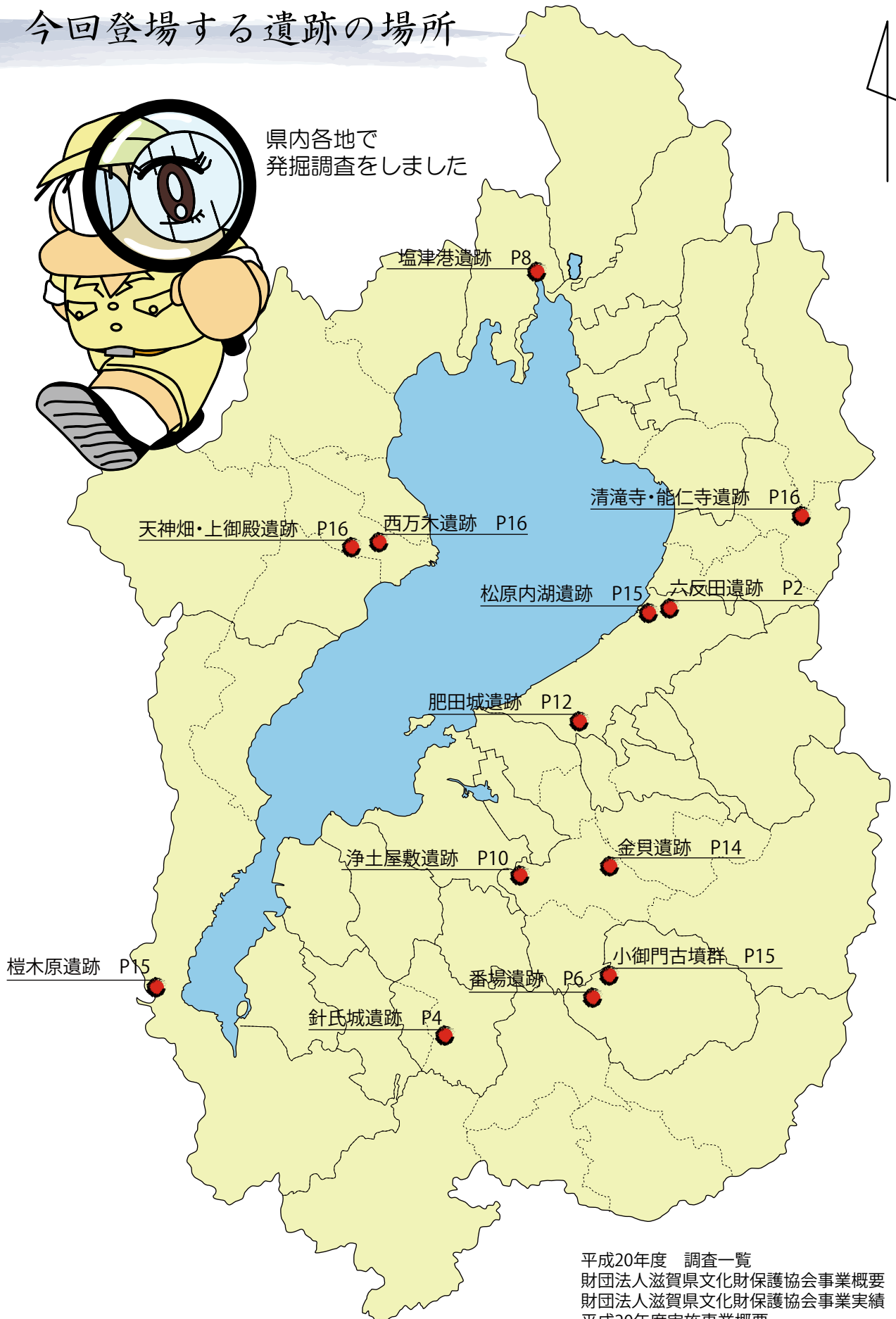
こんにちは! シガタロウ君です。  
滋賀県の新しい歴史をご覧ください。



# 今回登場する遺跡の場所



県内各地で  
発掘調査をしました

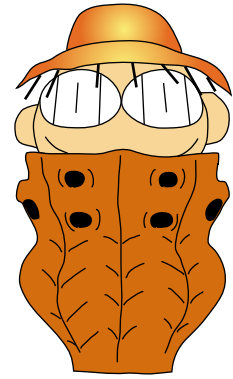


平成20年度 調査一覧 P17  
 財団法人滋賀県文化財保護協会事業概要 P18  
 財団法人滋賀県文化財保護協会事業実績 P20  
 平成20年度実施事業概要 P24

# ろくたんだ 六反田遺跡

彦根市宮田町

## 食にまつわる縄文人の工夫と祈り



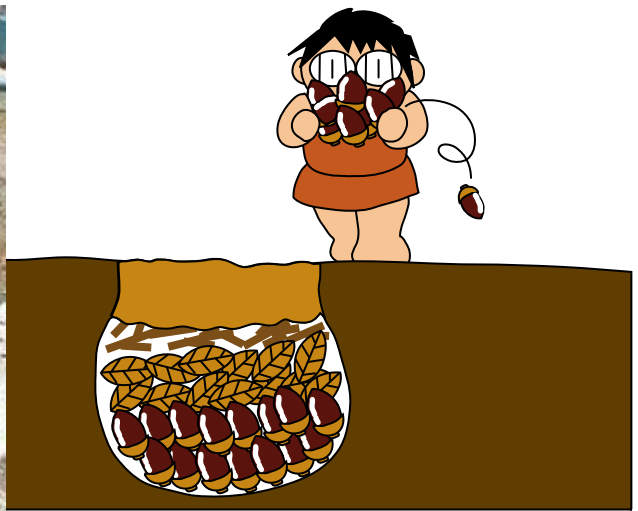
六反田遺跡は、縄文時代から中世にかけての遺跡です。平成20年度の調査では、縄文時代後期（約4,000～3,000年前）から晩期頃（約3,000～2,400年前）の建物5棟以上・墓11基以上・食料貯蔵穴15基が大量の土器や石器とともに発見されました。発見された遺構・遺物の中でとくに注目されるのは、縄文時代後期の貯蔵穴と、土偶です。



縄文時代の貯蔵穴検出状況  
直径2m以上で、関西地方最大級のものです。



発見された貯蔵穴群 丸い白線で囲まれた穴が貯蔵穴です。



貯蔵穴の中の様子

縄文時代の主食の一つは木の实です。貯蔵穴は、食料を貯蔵するために地下に掘られた穴のことです。秋から初冬にかけて収穫した木の实は、次の秋までの食料を安定的に確保するために、貯蔵穴にたくわえられました。今回みつかっ

た貯蔵穴の大きさは、直径1~2m、深さ0.5mのものです。その中には当時の人々が貯めていた約3000年前のカシ・トチノキ・コナラといった木の实が、12,000粒以上つまっていました。



出土した土偶 (前面)



(背面)

土偶は、女性をかたどった土製の人形で、まじないや祭祀に使われていたと考えられます。世界各地には、女神をばらばらにして埋め、生命の再生や、食物が豊かに実ることを祈る神話や習俗

が伝わっています。今回みつけた土偶は、左足などが欠けた状態でみつまっていることから、「豊かな実り」を期待して貯蔵穴に埋められたものかも知れません。

# はりしじょう 針氏城遺跡

湖南省針

## 縄文時代の石器製作工房



針氏城遺跡は、湖南省針の集落の南側にある遺跡です。今回の調査では、地面が周囲よりも<sup>くぼ</sup>窪んだ「<sup>おこ</sup>落ち込み」と呼ばれる遺構を5か所で発見しました。その中に、大阪府生駒山麓<sup>いこまさんろく</sup>でつくられた縄文時代晩期の土器や石器が含まれていました。また、石器製作時に出る石材の破片がたくさんみつかっています。この時期の遺物がまとめて発見されたのは、県内では<sup>しがさといせき</sup>滋賀里遺跡（大津市）や<sup>しなこていせき</sup>志那湖底遺跡（草津市）などに次いで4箇所目となります。



縄文土器の出土状況

落ち込みの中から縄文土器の破片が出土しました。



縄文時代の遺構（落ち込み） 奥の方の窪んでいるところが落ち込み（窪地）です。

縄文土器は、縄文時代晩期初頭（約3,000～2,900年前）のもので、「<sup>しがさとにしき</sup>滋賀里Ⅱ式」と呼ばれている形です。用途の違う<sup>ふかいぼち</sup>深鉢と<sup>あさぼち</sup>浅鉢の2種類があります。これらの土器の特徴は、土器の表面に巻貝やへら状の道具を使って<sup>おうせん</sup>凹線と呼ばれる文様を入れていることや、浅鉢の表面を磨いているものが多いことです。



出土した縄文土器（深鉢）



### 出土した石器

（石鏃・叩き石・石核・チップ・水晶製石器）



ハンマーストーンを使った直接打撃



木切れを使った直接打撃

### 石器の作り方の例

落ち込みなどから、サヌカイト製の<sup>せっかく</sup>石核や<sup>はく</sup>剥片、チップが大量に出土しました。石核や剥片は石器を作る材料で、チップはそれらの形を整えた時に出る石くずです。今回の調査では、石器製作工房そのものを発見することはできませんでしたが、原石と石くずまでが出土していることから、

石器は、サヌカイトと呼ばれる生駒山系の<sup>にじょうざん</sup>二上山で採れる石材で作った石鏃とその原石や、河原石を用いた<sup>たた</sup>叩き石などが出土しました。また、<sup>すいしょう</sup>水晶製の石器も1点出土しています。かつては、調査地の南にある山で水晶が取れたようですが、現時点ではどこで産出したものかは明らかになっていません。



### 針氏城遺跡と生駒山系の二上山

この遺跡で石器を作っていたと考えられます。また、石器を製作した石材が生駒山系の二上山で産出したものと考えられることから他地域とも交流しながら自分たちの生活を営んでいた様子もうかがえます。

# ばんば 番場遺跡

蒲生郡日野町三十坪

## 日本最古の木製網代



番場遺跡は、<sup>がもうの</sup>蒲生野と呼ばれた地域の南部に  
<sup>ひのがわ</sup>広がる日野川流域の古墳時代の遺跡群です。今  
 回の調査では、古墳時代中期(5世紀後半)の川  
 跡から、全国でも出土例が少ない大型の<sup>もくせいあ</sup>木製網  
<sup>じろ</sup>代や、土師器・<sup>はじき</sup>須恵器・<sup>すえき</sup>堅櫛などの多くの遺物が  
 出土しました。出土した遺物の量から、調査地区  
 周辺には古墳時代の大きな集落跡があったこと  
 がわかりました。



川跡の発掘調査風景



★木製網代出土地点

古墳時代の川跡





### 出土した土師器壺

川跡から、数点の須恵器片と多量の土師器が出土しました。完全品もあります。土師器には、壺・甕・高杯があり、手づくねのミニチュア土器も多くあります。



### 出土した豎櫛

漆を塗った<sup>うるし たてぐし</sup>豎櫛が1点出土しました。豎櫛は、ヒゴ状の植物質を糸で束ねて折り曲げ、ヘアピンのように<sup>かみど</sup>髪留めとして使用されたものと考えられています。

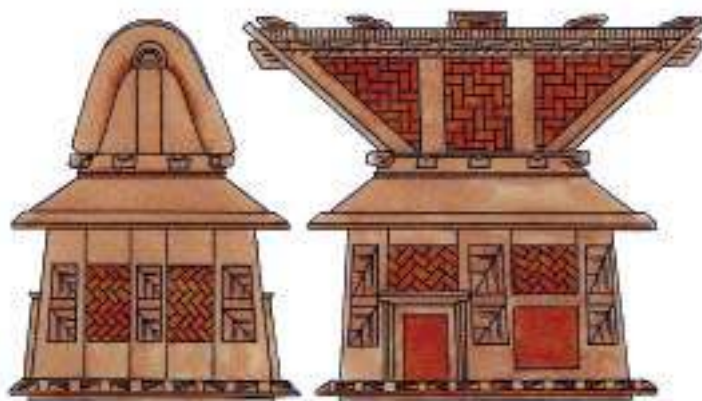


### 木製網代出土状況

木製網代は、幅90cm、長さ120cmもある大型のものです。幅約2～3cm・厚さ0.1cm未満の木材(スギ・ヒノキ・サワラ等の針葉樹)を編み組んで一枚の板状に仕上げています。その用途については、まだはっきりしていませんが、同時代の<sup>いえがたはにわ</sup>家型埴輪の外壁や屋根に網代の模様が見られることなどから、建物の一部と考えられます。



網代編み



宮本長次郎 「日本原始古代の住居建築」より転載・改変

# しおづこう 塩津港遺跡

伊香郡西浅井町塩津浜

## 社殿の北の堀から神像が見つかる



- 鳥居
- 拝殿
- 正殿
- 門

### 神社想定図

平安時代後期のような。約50m四方の堀に囲まれ、「正殿」・「拝殿」・「鳥居」・「門」などの施設がある。

### 塩津港遺跡全体の様子

塩津港は、琵琶湖の最奥に流れ込む大川の河口にあります。この港は、奈良時代から明治時代までの長い間、北陸地方から京都に向かう物資の積み替え港として大変栄えていました。

平成18・19年度の発掘調査では、平安時代後期頃に建てられた神社跡や長大な起請札木簡きしょうふだもっかんが見つかっています。平成20年度の発掘調査で

は、前回見つかった神社に伴うとりい鳥居・門・井戸を確認しました。さらに、隣にもうひとつの神社があることがわかってきました。



### 鳥居の柱

神社跡の南側にある土橋を渡ってすぐの所で、鳥居の柱がみつかりました。太さは、根元の所で約50cmです。人々は琵琶湖側から堀を渡り、鳥居をくぐって参詣していたと思われます。鳥居から北側に30m進むと、拝殿・本殿（正殿）があります。

### 神様用の井戸

神社跡の東隣から、井戸がみつかりました。井戸枠には、直径60cmの曲物が使われ、底部には、玉砂利が敷かれています。神様用の井戸「神泉」と考えられます。浅い井戸ですが、琵琶湖に近いこともあり、発掘調査中でも、こんこんと水が湧き出していました。



出土した男神像

神社跡の北側と東側の堀の中から、5体の神像がみつかりました。5体もの神像が発掘されたのは日本では初めてのことです。いずれも高さ15cmほどの、一木作りの像です。神像は本来、社殿の中に安置され、人目に触れることのない神聖なものとしてされています。

今回みつかったものは、神社の屋根を葺いて



出土した女神像

いた瓦と一緒に、堀の中に転落した状況でみつかりました。1185年に琵琶湖を大きな地震が襲った記録があります。地震で起きた津波によって、社殿と一緒に波に押し流されてしまったのではないのでしょうか。

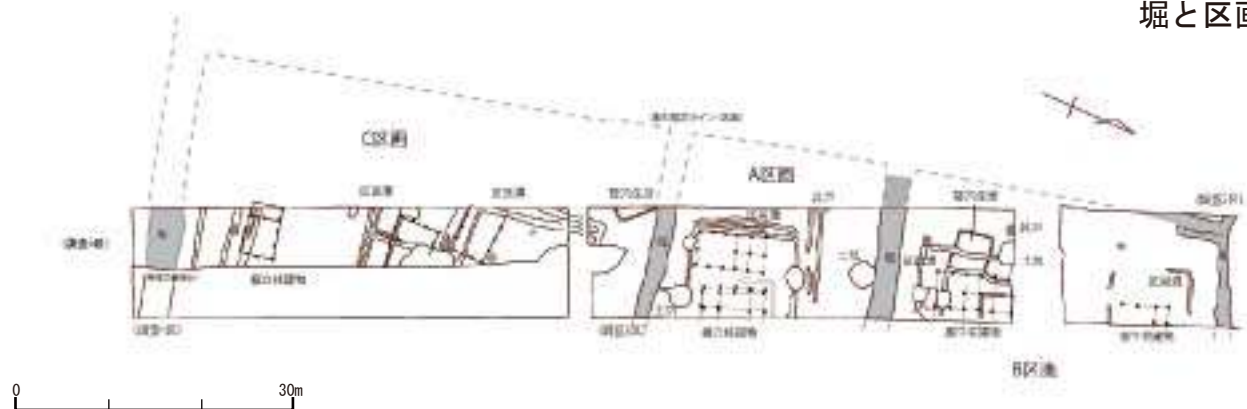
じょうどやしき  
**浄土屋敷遺跡** 東近江市上平木町  
 堀で囲まれた集落を発見



東近江市上平木町の北東側にある遺跡です。調査地区周辺は、「浄土屋敷」のこあぎめい小字名から、屋敷地の伝承が残されていましたが、今回の調査から、この地点に室町時代の集落が営まれていたことがわかりました。



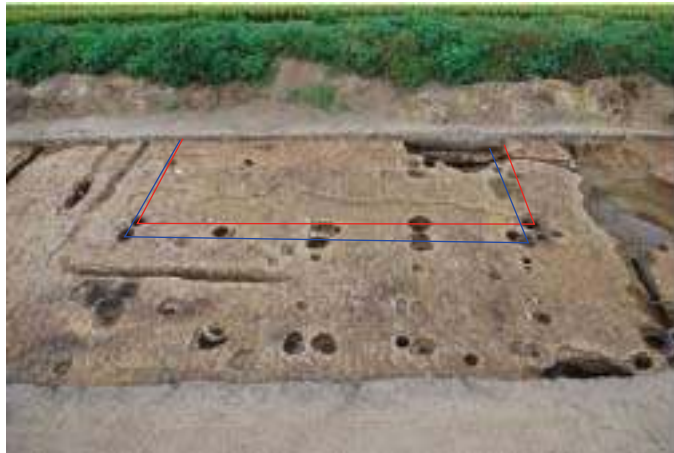
堀と区画溝



堀は、人が簡単に飛び越えられない程度の幅(幅3～5m、深さ約1.2m)があり、約30m、45m、60mの間隔で掘られていました。今回みつけた堀は、水利に乏しい蒲生野<sup>がもうの</sup>においては、集落<sup>ぼうぎよ</sup>の防御のほかに、水田の灌漑用水路<sup>かんがいようすいろ</sup>としての役目をはたしていたようです。



堀の検出状況



堀で囲まれたそれぞれの区画の中には、一辺約15mの方形に巡る小さな溝(幅0.2～0.3m、深さ0.2～0.3m)が掘られ、その溝で囲まれた内側に、掘立柱建物<sup>ほったてばしらたてもの</sup>が建てられています。

区画溝の内側に建てられた掘立柱建物



掘立柱建物は、柱よりもひとまわり大きい穴を掘り、その中に柱を立てて、埋め戻した構造<sup>いせじんぐう</sup>で造られた建物のことです。現在も伊勢神宮などで用いられている建て方です。

掘立柱建物の構造

# ひだじょう 肥田城遺跡

彦根市肥田町

## 城跡から「懸仏を発見」



肥田城は、六角氏の重要家臣であった高野瀬隆重が、大永年間(1521年～1528年)に築いた城といわれています。今回の調査では、室町時代後期の2本の大区画溝、その内側を区画している区画溝、区画溝の内側に建物などがみつかりました。区画溝の中からは、日用品や茶道具のほかに、懸仏や卒塔婆などの仏教に関する遺物が発見されました。



### 字境溝検出状況

小字「山王」と「丹波屋敷」の字境にあたる溝です。溝は杭と板材・石で部分的に護岸しています。



調査地全景



調査地の東南側にある小区画溝では、深い部分を杭と石材を使って護岸を行っていました。その他の区画溝でも、溝中に杭列がみつかる場所があり、そこには、橋などが架けられていたと考えられます。

**字境溝中杭列検出状況** 杭列は2か所に集中して4列検出されています。使用されている杭には、建物の柱材やまな板などが再利用されていました。



**出土した卒塔婆**

金銅製とみられる懸仏は、胸部に小さな穴があり、釘で銅板に貼り付けられていたものです。（高さ5.5cm、厚さ1.2cm、重さ14.9g）表面には、金を施した跡も残っていました。

※懸仏→本地仏を貼り付けた鏡や円形の銅板。上部の左右に鑿をつけて釣り下げ、神社や寺院の本殿などにかけて礼拝の対象にしていました。

卒塔婆は、2点とも針葉樹材で、小型のものの表面には墨書した「空」「風」「火」「水」の梵字が書かれていました。（小型のものは、高さ10.3cm、幅2.1cm、厚さ0.25cm）

※梵字→インドから仏教の伝播とともに、中国や日本に伝えられた梵語を表記する文字。日本では、主に墓標・五輪塔などに刻まれたり、書かれたりしました。



**出土した飲食器(左)・懸仏(中)・燭台の皿(右)**

懸仏の他に、仏に供える飲食物を盛る飲食器（高さ10.3cm、直径6.8cm）や燭台の皿部分（直径9.2cm）、香炉など、仏教に関わる遺物がまとまってみつかっています。このことから、肥田城の城内に、持仏堂のような宗教施設があったと思われます。



**出土した飲食器**

かなかい  
**金貝遺跡**  
 東近江市野村町

日本最古の「三間社流造」の神社



神社本殿



神社本殿復元図  
 (大上直樹氏・大阪人間科学大学准教授作成)

金貝遺跡は、奈良時代から平安時代にかけての集落跡です。平成20年度の調査では、平安時代前期の神社本殿跡がみつけられました。

この建物跡は、正面に向かって柱間が3つ横に並び、前面に長くせり出した屋根を持つ「三間社流造」という神社様式の建物であることがわかりました。現存する「三間社流造」の神社本殿で最古のものは、建保7年(1219年)に建てられた香川県坂出市の神谷神社本殿です。今回発見された遺構は、それよりも300~400年近くも古く

さかのぼる時期に造られたことを示す発見となりました。

では、なぜこの場所に神社が造られたのでしょうか。周辺の発掘調査では、奈良時代から平安時代の灌漑用水路が見つかっており、愛知川から水を引き水田開発を行っていたことがわかっています。このため、土木工事の安全や安定した水の確保、さらに稲の豊作を願う、精神的な拠り所として「社」を建築して祈願したのではないのでしょうか。



# こみかど こふんぐん 小御門古墳群

蒲生郡日野町小御門

小御門古墳群は、昭和41年の調査で、10基の古墳で構成される古墳群であることがわかりました。そのうち1基は木芯粘土郭もくしんねんどかくという非常に珍しい埋葬主体部まいそうしゅたいぶをもっています。今回の調査は、4基の古墳を調査し、この古墳群が6世紀末から7世紀前半のものであることを確認しました。



古墳群の調査前の状況

# まつばらなほこ 松原内湖遺跡

彦根市松原町

山裾やますそから6世紀の古墳が1基みつかりました。人を葬った主体部ほうむの中には、枕まくらにあたる場所に須恵器すえきの杯蓋つきぶたが置かれ、耳に着けていたと思われる金環きんかん（イヤリング）などが残されていました。



古墳主体部

須恵器の杯蓋を枕にしています。

# はんのきはら 榎木原遺跡

大津市南滋賀

おおつのみや かわらかま のぼりがま  
大津宮時代の瓦窯（登窯）1基と、奈良時  
後半から平安時代の瓦窯（平窯）2基を調査  
した。

みなみしがはいじ  
近くに瓦を葺いた南滋賀廃寺（国指定史跡）  
があります。



瓦を焼く時に瓦を並べた階段です。  
天井は残っていませんでした。

てんじんばた かみごてん  
**天神畑・上御殿遺跡**

高島市鴨・高島市安曇川町三尾里

縄文時代後期の埋甕<sup>うめがめ</sup>や、縄文時代から中世にかけての川跡がみつかっています。川跡の中からは、幅約1cm・長さ約30cmの非常に薄い板に、「妙法蓮華経」のお経を墨書した中世の「柿<sup>こけら</sup>経<sup>きょう</sup>」がまとまって出土しました。



柿経出土状況

にしゆるぎ  
**西万木遺跡**

高島市安曇川町西万木

室町時代前半頃の在地領主の屋敷跡がみつかりました。屋敷地を囲む堀の中からは、中国製双耳長頸瓶<sup>そうじちやうけいへい</sup>・茶臼<sup>ちやうす</sup>・硯<sup>すずり</sup>といった遺物がみつかっています。中国製双耳長頸瓶はほぼ完形で、黒漆<sup>くろうるし</sup>が残っています。遺跡からの出土事例がほとんどないめずらしい遺物です。



中国製双耳長頸瓶

きよたきでら のうにんじ  
**清滝寺・能仁寺遺跡**

米原市清滝

弘安6年(1283年)に開基された清滝寺は、京極家<sup>きやうごくけ</sup>の菩提寺<sup>ぼだいじ</sup>として、歴代当主の墓所<sup>れきだいとうしゆ</sup>(国指定史跡)があることで有名な寺院です。今回は、清滝寺の南西に隣接した坊跡<sup>ぼう</sup>の調査を行いました。その結果、室町時代後期の石積遺構<sup>いしづみいこう</sup>や、常滑焼<sup>なめやき</sup>の大甕<sup>おおがめ</sup>を埋納した土坑2基がみつかっています。



大甕埋納遺構

穴の中に大きな甕がすえられていました。  
(口径66.9cm、高さ78.1cm)

# 平成20年度 調査一覧

	遺跡名	所在地	調査	面積	報告書	事業者	調査原因	内 容
1	榎木原遺跡	大津市	発掘	200		国土交通省	西大津バイパス	大津宮時代の登窯、奈良時代末～平安時代の平窯
2	極楽寺遺跡	高島市	発掘	326		高島県事務所	道路改修	古墳時代の円墳、奈良～平安時代頃の掘立柱建物
3	天神畑・上御殿遺跡	高島市	発掘	3,845			河川改修	縄文時代の埋甕、奈良・平安時代～中世の溝
4	金貝遺跡	東近江市	発掘	7,480		東近江地域振興局	河川改修	奈良～平安時代後期の掘立柱建物、溝
5	安土城下町遺跡	安土町	発掘	530			道路改築	条里と同方向の溝、段差状遺構
6	番場遺跡	日野町	発掘	4,000		湖北地域振興局	国道改良工事	古墳時代中期の流路
7	小野寺遺跡	長浜市	発掘	638			砂防工事	近世～近代の平坦面、河道と道路遺構
8	清滝寺・能仁寺遺跡	米原市	発掘	1,629		湖北地域振興局	砂防工事	15～17世紀の常滑焼・信楽焼・瀬戸美濃焼・青磁など
9	塩津港遺跡	西浅井町	発掘	4,315			流域防災事業	平安時代の神社跡、木製神像
10	松原内湖遺跡	彦根市	発掘	2,480		東北部流域下水道	建物建設	奈良～平安・室町時代の掘立柱建物
11	史跡北近江城館群 下坂氏館跡不断光院	長浜市	発掘	22		長浜市教委	保存修理	造営当初の基壇、増築基壇
12	浄土屋敷遺跡	東近江市	発掘	12,185		農政水産部	ほ場整備	縄文時代の土器棺墓、古墳時代の堅穴住居など、室町時代の集落
13	金貝遺跡	東近江市	発掘	4,719			ほ場整備	平安時代前期の神社本殿
14	針氏城遺跡	湖南市	発掘	3,927			ほ場整備	縄文時代の落ち込み、石器など
15	六反田遺跡	彦根市	発掘	3,329			ほ場整備	縄文時代の貯蔵穴、土偶
16	肥田城遺跡	彦根市	発掘	7,925			ほ場整備	室町時代の金属製炊飯器など
17	明王院・地主神社遺跡	大津市	発掘	50		(宗) 明王院	保存修理	16世紀以前の礎石、石畳
18	西万木遺跡	高島市	発掘	1,000		(株) 平和堂	店舗建設	室町時代の屋敷地、中国製の長頸瓶
19	青岸寺庭園	米原市	発掘・測量	1		青岸寺	保存修理	修理に伴う測量・立会い調査
20	坂本八条遺跡	大津市	試掘	500		大津土木事務所	河川改修	遺構・遺物なし
21	関津遺跡	大津市	試掘	300			バイパス改築事業	中世の溝跡、水田跡、畦畔跡
22	塚岩古墳群	野洲市	試掘	20		南部振興局	砂防工事	遺構・遺物なし
23	岩瀬谷古墳群	湖南市	試掘	150			砂防工事	遺構は特になし
24	岩坂南古墳群	甲賀市	試掘	346		南部振興局甲賀事務所	砂防工事	中世に造成された平坦面、石仏・石塔
25	木村古墳群	東近江市	試掘	1,300		東近江地域振興局	道路改良	古墳時代後期～平安時代の集落跡
26	番場遺跡ほか	日野町	試掘	1,800			国道改良工事	遺物包含層、流路跡・汜濫跡
27	清滝寺・能仁寺遺跡	米原市	試掘	300		湖北地域振興局	砂防工事	16世紀後半頃の土師皿・木炭・常滑焼・瀬戸美濃焼・信楽焼
28	浅井寺遺跡	湖北町	試掘	20			道路整備	遺構・遺物なし
29	早崎内湖遺跡	長浜市 湖北町	試掘	198		琵琶湖環境部	内湖再生検討事業	遺構・遺物なし
30	小御門古墳群	日野町	試掘	320	○	健康福祉部	建物解体	古墳4基、ビットなど
31	志那湖底遺跡他	草津市	整理			県教育委員会 (旧水資源公団)	琵琶湖開発事業	縄文時代後期～晩期の土器棺墓や弥生時代中期の遺物
32	針江浜遺跡	高島市	整理				琵琶湖開発事業	弥生時代前期の堅穴住居・掘立柱建物、噴砂など
33	上仰木遺跡	大津市	整理			大津土木事務所	道路改築	平安時代の製鉄・鋳造・製陶にかかわる生産遺跡
34	極楽寺遺跡	高島市	整理			高島県事務所	道路改築	古墳時代の円墳、奈良～平安時代頃の掘立柱建物
35	西万木遺跡	高島市	整理			(株) 平和堂	店舗建設	室町時代の屋敷地、中国製の長頸瓶
36	靈仙寺遺跡	栗東市	整理			土木交通部	道路整備	弥生時代後期～古墳時代前期の集落跡
37	赤ノ浜遺跡	守山市	整理		○		河川整備	弥生時代晩期～鎌倉時代の河道、弥生時代前期～中期の方形周溝墓
38	金貝遺跡	東近江市	整理			東近江地域振興局	河川改修	奈良～平安時代の集落跡
39	安土城下町遺跡	安土町	整理		○		道路改築	土師質の土鍾、信楽焼播鉢
40	小野寺遺跡	長浜市	整理			湖北地域振興局	砂防工事	近世～近代の平坦面
41	史跡北近江城館群 下坂氏館跡不断光院	長浜市	整理			長浜市教委	保存修理	造営当初の基壇、増築基壇
42	名勝多賀神社奥書院庭園	多賀町	設・整	10		多賀町教委	保存修理	護岸石組の修理
43	松原内湖遺跡	彦根市	整理			東北部流域下水道	建物建設	6世紀の古墳が1基、奈良～平安時代前期の須恵器や土師器・土鍾、室町・江戸時代の陶磁器・砥石
44	関津遺跡	大津市	整理		○	農政水産部	ほ場整備	奈良～平安時代前期の道路跡
45	弘前遺跡	守山市	整理		○		ほ場整備	弥生～奈良時代の遺構、弥生時代～中世の土器
46	井戸遺跡	湖南市	整理				農村整備	平安時代の掘立柱建物、須恵器・土師器・陶器・銭貨など
47	夏見城遺跡	湖南市	整理				環境保全	中世の城館に関する区画溝
48	野村北遺跡ほか	東近江市	整理		○		ほ場整備	奈良～平安時代の掘立柱建物、室町時代後期の溝・井戸
49	野村遺跡	東近江市	整理		○	ほ場整備	奈良～平安時代の堅穴住居・掘立柱建物、刀子・帯金具、土器類	
50	肥田城遺跡	彦根市	整理		○	ほ場整備	弥生～室町時代の掘立柱建物、木製埴輪	
51	六反田遺跡	彦根市	整理			ほ場整備	縄文時代の建物・埋甕土器棺墓・貯蔵穴、白鳳～平安時代の掘立柱建物	
52	明王院・地主神社遺跡	大津市	整理			(宗) 明王院	保存修理	平安～江戸時代の銅銭、土師器、明治・大正時代の陶磁器
53	西明寺	甲良町	立会			西明寺	保存修理	淡瀬作業立会
54	堤ヶ谷遺跡	竜王町	分布調査	200,000		土地開発公社	工業団地開発	古墳、防空壕ほか
				263,865	8冊			

# 財団法人滋賀県文化財保護協会 事業概要

財団法人滋賀県文化財保護協会は、滋賀県内の文化財の調査や研究、保護思想の普及・啓発、その他必要な事業を行い、本県文化の向上に寄与するため、昭和45年(1970)に設立されました。

財団法人滋賀県文化財保護協会は、文化財の調査・活用事業をとおして、ゆたかな滋賀づくりに貢献します。

## ●事業

### 1. 文化財保護のための普及啓発事業

文化財に関する講演会・講座・展示会などの開催。

文化財に関する出版物の刊行。

文化財活用事業の受託。



烏丸崎遺跡展示解説



烏丸崎遺跡報告書刊行会

### 2. 文化財の調査研究および保護に関する事業

埋蔵文化財等の調査の受託。

### 3. 文化財保護資金の貸付事業

滋賀県、県内各市町村、民間団体、法人、企業および個人からの出資金・寄付金を基金として無利子で、文化財の保護・保存のため事業資金の貸付を行う。



滋賀県指定有形文化財  
兵主大社楼門



慈眼寺 木造薬師如来坐像  
修理後

#### 4. 文化財関連施設の管理運営事業

滋賀県立安土城考古博物館・滋賀県埋蔵文化財センター・滋賀県立琵琶湖文化館の管理および運営。

##### 滋賀県立安土城考古博物館

特別史跡安土城跡を始めとする「城郭」や、弥生時代、古墳時代の遺跡をテーマとした博物館として親しまれています。



##### 滋賀県埋蔵文化財センター

県内各地の遺跡から発掘された遺物や調査記録を整理・保管するとともに、文化財の価値を県民に伝えるための活用事業等を実施しています。



##### 滋賀県立琵琶湖文化館

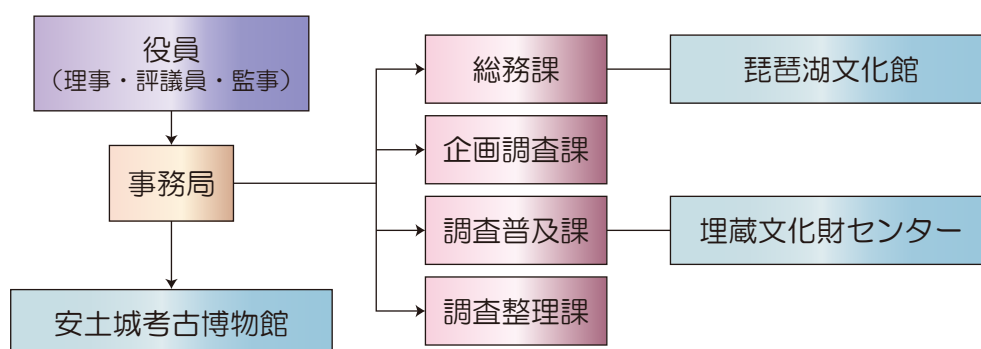
平成20年度から休館ですが、収蔵品を活用しながら他施設等で展覧会や文化財講座などを開催しています。



#### ●基本財産

40,000千円（滋賀県・県内市町村・協会の出資金）

#### ●組織図



# 財団法人滋賀県文化財保護協会 事業実績

財団法人滋賀県文化財保護協会では、県・市町教育委員会との連携を図りながら、文化財の保存活用に関する事業を幅広く受託します。

## 1. 埋蔵文化財発掘調査事業

①滋賀県教育委員会からの発掘調査受託(平成20年度事業についてはP17参照。)

②市町教育委員会からの発掘等調査受託

- ・長浜市慶雲館庭園の名勝指定事前調査
- ・湖北町史跡小谷城跡出土遺物整理調査

および報告書編集



慶雲館庭園

③民間開発事業に伴う発掘調査受託

- ・甲賀市北脇遺跡発掘調査事業  
(ショッピングモール造成工事)

- ・高島市西万木遺跡発掘調査事業  
(大型店舗開発工事)



西万木遺跡発掘調査

④指定文化財保存修理事業

- ・史跡北近江城館跡群(下坂氏館)  
保存修理事業に伴う発掘調査

- ・重要文化財明王院本堂  
ほか3棟保存修理工事に伴う発掘調査



明王院本堂の調査

## 2. 名勝庭園保存修理事業受託

- ・名勝西明寺本坊庭園保存修理事業
- ・名勝多賀神社奥書院庭園保存修理事業
- ・名勝青岸寺庭園保存修理事業
- ・名勝延暦寺里坊庭園(旧白毫院庭園)保存修理事業



青岸寺庭園発掘作業状況



多賀神社奥書院庭園測量風景

## 3. 文化財活用事業の受託

### ①滋賀県教育委員会からの受託事業

- ・埋蔵文化財活用促進事業(県内の埋蔵文化財をテーマごとに紹介)
- ・「近江水の宝」調査活用事業(水に関する文化財を幅広く紹介)



シンポジウム



「近江水の宝」紹介リーフレット

### ②市町教育委員会からの受託事業

- ・葛籠尾崎湖底遺跡紹介パンフレット編集事業

湖北町教育委員会からの依頼により、琵琶湖を代表する湖底遺跡である葛籠尾崎湖底遺跡の魅力を一一般の方にわかりやすく紹介するパンフレットを編集し、印刷します。

A4版12ページ カラー印刷



葛籠尾崎湖底遺跡遠望



葛籠尾崎湖底遺跡から曳き上げられた土器

## 4. 文化財活用自主事業の実施

財団法人滋賀県文化財保護協会は、受託事業の他、文化財の価値を周知し、これを未来に継承する事を目的とし、文化財活用事業の実施に積極的に取り組んでいます。

### ①発掘調査現地説明会等の実施

発掘調査では、その成果をより早く、多くの方々に知ってもらうため記者発表や説明会を開催しています。



浄土屋敷遺跡現地説明会



西万木遺跡現地説明会

### ②発掘調査成果報告会の実施

発掘調査報告書を刊行した時に、調査を行った遺跡の所在する地域で報告会を実施しています。

### ③整理調査成果報告会「あの遺跡は今！」の実施

現地での発掘調査に引き続き実施する整理調査において、明らかとなった成果をわかりやすく県民に報告します。



あの遺跡は今！展示解説



あの遺跡は今！木簡製作

### ④文化財連続講座「モノ知り学—遺跡調査員が語る近江の歴史—」の実施

滋賀県文化財保護協会の職員が、得意とする分野の文化財を対象に、出土した遺物などを使って詳しく解説します。



連続講座の様子



連続講座の様子

### ⑤文化財講師の人材派遣「私こんな事やっていますねん」の運用

滋賀県埋蔵文化財センターでは、県内の文化財専門職員が講座等で一般の方々に文化財の魅力や価値を伝える持ちネタ台帳を整備し、HP上で公開しています。



## ⑥出土品の活用事業「埋蔵大喜笑!! (マイゾオオキニツ)」

埋蔵文化財センターでは、学校を始めとする地域学習の素材として、本物の出土文化財の貸し出しを行っています。

## ⑦JR湖西線大津京駅構内文化財展示

大津京駅構内において、文化財の魅力をわかりやすく展示しています。



出前事業の様子

## ⑧HP上での情報発信

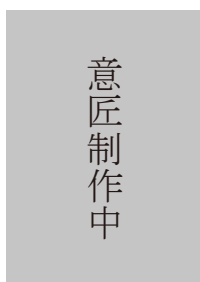
文化財保護協会・埋蔵文化財センターでは、HP上で、文化財に関する様々な情報を公開しています。特に、文化財活用事業の情報提供の充実に努めています。



JR湖西線大津京駅構内展示

## 5. 文化財関係印刷物の編集・刊行

滋賀県文化財保護協会では、埋蔵文化財発掘調査報告書を始め、県下の文化財を紹介する様々な印刷物を提供しています。



「びわこの考湖学」  
産経新聞にて連載  
近日刊行！  
¥1,680



「紀要」第22号  
¥1,000



「近世の城と城下町」  
¥1,680



「古代地方木簡の世紀」  
¥1,680

### ★文化財活用事業に関するお問い合わせ・書籍のお申し込みは

財団法人滋賀県文化財保護協会

〒520-2122 滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2

TEL 077-548-9780

<http://www.shiga-bunkazai.jp>

滋賀県埋蔵文化財センター

TEL 077-548-9681

<http://www3.ocn.ne.jp/~shiga-mc>

# 平成20年度 実施事業概要

## (1) 協会運営

### ◎役員会議等の開催

- 決算監査 平成20年5月21(水)
- 第1回理事会・評議委員会 平成20年5月29日(木)
- 第2回理事会・評議委員会 平成21年3月27日(金)

### ◎管理事務

滋賀県埋蔵文化財センター・滋賀県立琵琶湖文化館

### ◎指定管理

滋賀県立安土城考古博物館  
(指定管理期間 平成18年～22年、5年間)

## (2) 埋蔵文化財の調査・研究・保護に関する事業

### ◎埋蔵文化財調査などの受託(明細別表)

## (3) 文化財保護のための普及啓発事業



整理作業

### ①文化財展の開催

#### ◎「レトロ・レトロの展覧会2008」

—平成19年度発掘調査出土品展

(場所: 滋賀県埋蔵文化財センター)

期間 平成20年7月19日(土)～8月31日(日)

入館者数 3,892人



レトロ・レトロの展覧会

### ◎第24回成果展

(安土城考古博物館第36回企画展と共同開催)

「古代地方木簡の世紀—文字資料からみた古代の近江—」

平成20年7月19日(土)～9月7日(日)

○シンポジウム 8月17日(日)

### ◎JR湖西線大津京駅構内文化財展示

第1回「近江大津の宮」—駅名改称に伴う企画

平成20年1月18日(金)～平成20年9月18日(木)

第2回「発掘調査速報展

—平成19年度に発掘調査した遺跡

平成20年9月18日(木)～平成21年1月16日(金)

第3回「浮御堂遺跡

—古代堅田から中世自由都市堅田への変遷

平成21年1月16日(金)～平成21年6月18日(木)

### ②刊行物の編集・発行

◎「文化財教室シリーズ」No.229～232

◎「滋賀県文化財だより」No.309～312

◎「紀要」第22号

◎「古代地方木簡の世紀」(サンライズ出版)

### ③発掘調査現地説明会などの開催

全16回開催 参加者延べ 1,510人

### ④報告書刊行報告会

◎浮御堂遺跡(大津市教育委員会と共催)

大津市堅田公民館

平成20年10月5日(日) 参加者 27名

◎烏丸崎遺跡

琵琶湖博物館

○報告会 平成21年3月8日(日) 参加者 706名

### ⑤整理調査報告会「あの遺跡は今！」

全2回開催 参加者延べ 747人

### ⑥連続講座の開催

「モノ知り学—遺跡調査員が語る近江の歴史」

全7回開催 参加者延べ 245人



佐和山城現地講座

### ⑦情報の発信

協会ホームページによる発掘調査情報、現地説明会案内・資料、出版案内、整理調査速報などの情報を全国に発信した。

平成20年度アクセス件数77,940件(月平均6,495件)

### ⑧その他

◎記者発表・資料提供 12件

◎職場体験等 2校 20人

◎講座、見学会、研修会講師等 41回

参加者延べ 1,667人

#### (4)文化財施設の管理運営事業

##### ①滋賀県立安土城考古博物館

平成20年度 年間総入館者数 43,430人

##### ◎特別展

###### ○春季特別展

「仏法の初め、茲より作り

—古墳から古代寺院へ—

期間 平成20年4月26日(土)～6月8日(日)

(入館者数 4,267人)

###### ○秋季特別展

「天下人を祀る一神になった信長・秀吉・家康—

期間 平成20年10月11日(土)～11月16日(日)

(入館者数 5,774人)

##### ◎企画展

###### ○第36回企画展

「古代地方木簡の世紀

—文字資料からみた古代の近江—

期間 平成20年7月19日(土)～9月7日(日)

(入館者数 8,187人)

###### ○特別陳列

「水の浄土・琵琶湖

—琵琶湖文化館の収蔵品を中心に—

期間 平成20年11月22日(土)

～平成21年1月18日(日)

(入館者数 4,100人)

###### ○第37回企画展

「大信楽焼展—出土資料を中心に—

期間 平成21年1月31日(土)～3月29日(日)

(入館者数6,199人)

##### ②滋賀県立琵琶湖文化館

##### ◎展覧会(滋賀県立安土城考古博物館にて開催)

###### ○特別陳列

「水の浄土・琵琶湖展

—琵琶湖文化館の収蔵品を中心に—

期間 平成20年11月22日(土)

～平成21年1月18日(日)

###### ○記念講演会

「描かれた水の世界

—琵琶湖博物館の収蔵品を中心に—

11月23日(日)

講師 琵琶湖博物館主任専門員 上野良信

参加者 67人

###### ◎講座

全7回 参加者延べ 220人

##### ③滋賀県埋蔵文化財センター

平成20年度 年間総入館者数  
7,868人

##### ◎常設展示

上半期

「琵琶湖と近江の歴史」

下半期

「水と人々の暮らし」



滋賀県埋蔵文化財センター ロビー展示

##### ◎刊行物

「滋賀埋文ニュース」(第337号～第342号)

「埋もれた文化財の話 29」

「平成19年度滋賀県埋蔵文化財調査年報」

##### ◎出土遺物・写真・図書等の受入、利用状況

○「埋蔵大喜笑!!」貸出

(学校や各種の社会教育・講演会などへ)

貸出先 21件

利用者数2,966人 利用点数 延べ983点

##### ◎埋蔵文化財活用促進活動の実施

○ガイドブックの作成

ガイドブック「近江歴史探訪マップ11

「近江湖物語2湖幸比古と豊湖比咩の世界」

○滋賀県埋蔵文化財センター研究会の開催

第91回研究会 「湖幸比古と豊湖比咩の世界」

平成20年11月22日(土) ピアザ淡海

参加者 100人

第92回研究会 「平成20年度滋賀県発掘調査成果報告会 土の中から歴史が見える08

～最新の発掘成果から～

平成21年3月14日(土) ピアザ淡海

参加者 300人

##### ○水の生活体験学習の実施

水に関する生活文化を中心とした体験学習を実施した。

全10回開催 参加者延べ 1,391人



水の生活体験学習 水鉄砲製作

#### (5)文化財保護資金の貸付状況

◎貸付実績 6件 22,361,000円

国・県または市町が指定した文化財、登録文化財などの保護・保存をはかるため、県・市町・協会・宗教法人・企業・個人などの出資金・寄付金をもとに無利子で貸付事業を行う。

「レトロ・レトロの展覧会2009」

—平成20年度発掘調査出土品展

平成21年(2009)7月

編集・発行／(財)滋賀県文化財保護協会

大津市瀬田南大萱町1732-2

電話：077-548-9780

FAX：077-543-1525

共催／滋賀県教育委員会

印刷・製本／西濃印刷株式会社